

令和 7 (2025) 年度 主任相談支援専門員研修 募集要領

1 研修の目的

障がいのある方の意向に基づく地域生活支援を実現するために必要な課題を発見し解決を図るとともに、保健・医療・福祉・就労・教育等の支援の総合的かつ適切な援助技術を向上させ、本人主体の相談支援に従事する者の資質の向上を図ることを目的とします。

同時に、地域の相談支援体制において、地域課題の協議や対人援助職育成に関する中核的な役割を果たす者を育成することを目的とします。

2 実施主体（北海道による指定法人）

特定非営利活動法人 北海道地域ケアマネジメントネットワーク（北海道 CM ネット）

3 受講対象者 次の①～⑧すべてに該当する者

- ① 現に相談支援事業の業務に従事している者であり、所属長（管理者、施設長、法人代表者等）が推薦する者であること
- ② 相談支援従事者研修（現任研修）修了後、指定一般相談支援事業所、指定特定相談支援事業所、指定障害児相談支援事業所、市町村地域生活支援事業における障害者相談支援事業、又は基幹相談支援センターにおいて相談支援専門員として従事した期間が通算 3 年以上である者（管理者として兼務した期間も算定可）
- ③ 基幹相談支援センターもしくは指定相談支援事業所等において現に相談支援に関する指導的役割を担っている又は今後その予定がある、又は北海道相談支援従事者研修若しくは北海道サービス管理責任者等研修において、当該研修の企画若しくは講師等として携わっている者であること
- ④ 研修時の撮影、録音、録画、二次使用の禁止等に関する受講誓約書（受講決定時に様式送付）を提出し、その内容を遵守できる者であること
- ⑤ 「7 研修日程・会場」「8 研修プログラム」にある全てのプログラムの履修が可能な者であること
- ⑥ 研修修了後、法定研修への協力や圏域の研修参画、初任者研修及び現任研修受講者の実習や課題作成の支援を含めた地域の人材育成を担うこと
- ⑦ 職能団体等、相談支援専門員や地域の福祉関係者のネットワークの参加等による多職種連携と自己研鑽を継続すること
- ⑧ 本研修を修了した後、所属・氏名及び修了年月日について、「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例（平成 21 年北海道条例第 50 号）」第 27 条第 1 号に基づく支援員（地域づくりコーディネーター）及び道内各市町村に対して情報提供することに同意すること

4 定 員 30 名程度

※申込者多数の場合は、道内の圏域の実情等を考慮し、北海道と協議の上、事務局で選考いたします。

※1 事業所につき 1 名の参加といたします。

5 受講料（全日程） 50,000 円（税込）

6 申込期間

令和 7 年 6 月 10 日（火）～ 6 月 24 日（火）※必着

受講可否通知：7 月 15 日（火）頃、郵送にて発送いたします。

7 研修日程・会場

プログラム	所要日（時間）数	日程	会場
事前課題		令和7年8月12日提出締切	
前期eラーニング	360分	令和7年8月5日（火）～ 8月19日（火）	eラーニング
前期演習	2日間	令和7年8月26日（火）～ 8月27日（水）	かでの2・7 札幌市中央区北2条西7丁目
実習・実習課題		令和7年10月6日提出締切	
後期演習	3日間	令和7年10月28日（火）～ 10月30日（木）	市民活動プラザ星園 札幌市中央区南8条西2丁目

8 研修プログラム

	時間（時間数）	研修科目
事前課題	研修受講前の準備として、運営管理、質の向上、地域アセスメントについて指定様式に作成し提出	
前期 eラーニング 【360分】	30分	主任相談支援専門員研修の目的（1）
	180分	主任相談支援専門員の基本的視点と役割（1）（2）
	90分	障害福祉施策の動向
	60分	相談支援専門員の人材育成Ⅰ（1）
前期演習 【1日目】	13:00～14:00	主任相談支援専門員研修の目的（2）
	14:10～15:40	運営管理（1）
	15:50～16:50	相談支援専門員の人材育成Ⅰ（2）
	16:50～18:30	相談支援専門員の人材育成Ⅰ（3）
前期演習 【2日目】	9:20～13:50	相談支援専門員の人材育成Ⅰ（3）
	13:50～14:55	相談支援専門員の人材育成Ⅰ（4）・事務連絡
実習	所属機関（事業所）等や地域で事例検討会の企画・運営や進行等を行う	
後期演習 【1日目】	13:00～13:50	相談支援専門員の人材育成Ⅱ（1）
	14:00～14:50	相談支援専門員の人材育成Ⅱ（2）
	14:50～16:55	相談支援専門員の人材育成Ⅱ（3）
	17:00～18:05	相談支援専門員の人材育成Ⅱ（4）・事務連絡
後期演習 【2日目】	9:10～9:55	相談支援専門員の人材育成Ⅱ（5）
	9:55～11:20	地域援助技術（1）
	11:20～12:45	地域援助技術（2）
	13:40～15:10	地域援助技術（3）
	15:20～17:20	地域援助技術（4）
	17:25～18:00	地域援助技術（5）・事務連絡
後期演習 【3日目】	9:10～10:25	地域援助技術（6）
	10:35～11:55	運営管理（2）
	12:05～12:45	研修のまとめ・事務連絡

※演習には講義も含まれます。

※本研修プログラムのシラバスは、当法人のホームページに掲載します。

※研修時間・内容については変更となる場合があります。

9 研修実施方法

	オンライン講義（eラーニング）	集合（対面）演習
受講方法	・インターネット接続されたパソコンを利用して、視聴期間内の自由な時間に講義の動画を視聴します（倍速視聴禁止）。 ・講義動画ごとに理解度テストに回答しながら、視聴を進めます。	・対面形式、グループワーク中心の演習
視聴環境	・動画再生と音声出力ができるパソコン端末 ・インターネット回線（有線 LAN 推奨） ・パソコンで使用するメールアドレス（<u>受講者 1 人につき 1 アドレス</u>）	・注意事項等は受講決定通知の際にお知らせします。

10 受講申込先・問い合わせ先

（受講申込・研修内容に関する問い合わせ）

特定非営利活動法人 北海道地域ケアマネジメントネットワーク（北海道CMネット）
〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園305号
TEL 011-521-8551

（主任相談支援専門員の要件等に関する問い合わせ）

北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課 地域支援係
TEL 011-231-4111（内線 25-724）

11 申込から受講、修了認定までの流れ

①インターネット申込

申込受付期間内に、当法人ホームページに掲載する研修申込ページにアクセスし、申込フォームに必要事項を入力して送信します。

ホームページアドレス：<http://www3.rainbow.ne.jp/~hcm-net/>

- ・事業所による申込みとし、所属長（管理者、施設長、法人代表者等）が推薦する者に限る。
- ・電話、FAXでの申込不可。携帯電話、スマートフォンからのインターネット申込不可。
- ・複数の研修申込を受付中のため、必ず入力画面の上部にある研修名を確認すること。
- ・記載事項に不備や記載内容に矛盾がある場合は申込を受け付けません。

必要項目は必ず入力し、申込控（入力画面）を印刷した上で送信し、申込が完了したことを確認すること。

②受講者の選考と可否の通知

- ・受講者の選考については、北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課と協議の上行い、当法人より受講可否を通知いたします。選考にあたっては、実務経験および受講動機、地域事情等を考慮します。
- ・申込受付期間内に申込みのあった全ての方へ受講可否を通知しますので、通知予定日まで電話等による受講可否の問い合わせはご遠慮願います。なお通知予定日を5日以上過ぎても受講可否の通知文が届かない場合は、ご連絡をお願いします。
- ・申込内容に虚偽があると認められた場合は、受講決定後であっても受講決定を取り消すことがあります。

③受講料の納入

受講料（全日程） 50,000円（税込）

- ・決定通知に同封する郵便振替用紙にて払い込み、または所定銀行口座への振込。
納入期間は決定通知からおおむね10日間程度とします。（振込手数料は受講者負担。振込明細書をもって領収書の発行に代えます。）
やむを得ない理由により納入期間を過ぎる場合は、事務局までご連絡ください。
- ・研修開始日の10日前（当該日が土日祝日にあたる場合はその前日）までにキャンセルの申し出があった場合には受講料は全額返還（振込手数料は受講者負担）。それ以降のキャンセルについて

ては、やむを得ない事情と認められた場合に 1 割のキャンセル料及び振込手数料を除いた額を返還。なお、研修開始日以降のキャンセルまたは欠席については返還しません。

④事前課題と受講誓約書の提出

- ・ 受講前の準備として事前課題に取り組み、指定様式により提出してください。
- ・ 研修時の撮影、録音、録画、二次使用の禁止等に関する受講誓約書を記入し、指定期日までに提出してください。

⑤視聴環境の準備

- ・ e ラーニング（講義）では、動画再生と音声出力ができるパソコン端末、インターネット回線（有線 LAN 推奨）、パソコンで使用するメールアドレスが必要です。

⑥前期 e ラーニングの受講

- ・ 受講料納入と受講誓約書の提出が確認されると、「e ラーニングのお知らせ」メールが申込時に入力したメールアドレス宛に送信されます。
- ・ 講義資料は e ラーニングからダウンロードして使用します。
- ・ 視聴期間内に標準速度で全ての講義を視聴し、理解度テストを完了しアンケートを送付してください。
- ・ 受講料納入と受講誓約書の提出が遅れた場合、視聴期間が短くなりますので、ご注意ください

⑦前期演習日程の受講

- ・ 演習で使用する資料等は当日配布します。受講決定通知、前期 e ラーニング資料、筆記用具をご持参ください。
- ・ 体調管理等のお願い：研修受講前・当日とも体調不良の場合は受講の是非を判断し、受講が難しい場合は事務局までご連絡ください。その他、注意事項等は受講決定通知にてお知らせします。
- ・ 旅費・滞在費：各所属で負担願います。また、宿泊については各自で手配願います。研修会場には駐車場がありませんので、会場には公共交通機関でお越しください。

⑧実習課題の提出

- ・ 前期演習終了後、実習として、所属機関（事業所）等や地域で事例検討会の企画・運営や進行等を行っていただきます。
- ・ 指定様式にて実習内容の報告を作成し指定期日までに提出してください。

⑨後期演習日程の受講

- ・ ⑦前期演習日程と同様

⑩修了の認定

- （１）出欠の確認方法：
 - ・ e ラーニング（講義）は、規定の視聴時間を満たし、コースが「進捗率 100%」になること
 - ・ 演習は、出席簿の記入と理解度アンケートの web 回答欠席者に対する補講は原則として実施しません
- （２）修了の認定方法：以下の全てを満たすこと
 - ・ （１）による研修全日程の出席
 - ・ 事前課題、実習課題の提出
 - ・ 習熟度確認のための理解度テスト回答と研修アンケートの回答
- （３）受講決定の取消等：本研修において点数による評価は行いませんが、受講申込者及び受講決定者に、以下のような行為を確認した場合については、北海道と協議の上、受講決定の取消、又は研修修了証書を発行しない場合があります。
 - ・ 不適任行為（障がい者への虐待等）
 - ・ 研修とは無関係に携帯電話、スマートフォン、タブレット、PC 等を使用する、他の受講者への迷惑行為や受講の実態が認められない行為が見受けられ、注意しても改善が認められない場合



- ・受講誓約書に違反する行為

⑪修了証書の発行

- ・⑩による修了が認定された受講者に修了証書を発行し、研修最終日にお渡しします。

12 主任相談支援専門員研修 講師一覧

《前期 e ラーニング》

講義名	講師氏名	所 属	専門分野	略歴・業績
主任相談支援専門員研修の目的(1) 主任相談支援専門員の人材育成Ⅰ (1) 主任相談支援専門員の基本的視点と役割(2)	大久保 薫	札幌学院大学 社会福祉法人あむ	障害者支援 相談支援	平成13年10月～平成21年3月 社会福祉法人札幌この実会 中央区サポートセンター相談室ぽぽ 平成21年4月～平成25年6月 社会福祉法人あむ 相談室ぽぽ 平成25年7月～平成29年3月 同さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール(基幹相談支援センター) 平成29年4月～令和4年3月 同 相談室につと 令和2年4月～現在 札幌学院大学 特別任用教授 令和4年4月～現在 社会福祉法人あむ 理事 平成27年4月～現在 北海道自立支援協議会 構成員 (平成27年4月～令和6年3月 人材育成部会 部会員) 平成28年4月～現在 北海道障がい者が暮らしやすい地域づくり推進本部 本部員 令和3年4月～現在 NPO 法人野中ケアマネジメント研究会 代表 令和5年6月～現在 NPO 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク 代表理事 ※前年度以前の本研修講師実績あり
主任相談支援専門員の基本的視点と役割(1)	門屋 充郎	NPO 法人十勝障がい者支援センター	精神保健福祉 ケアマネジメント 相談支援	平成17年3月～現在 NPO 法人十勝障がい者支援センター 理事長 平成21年4月～令和5年5月 NPO 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク 代表理事 厚生労働省 相談支援の質の向上に向けた検討会 副座長 ※前年度以前の本研修講師実績あり
障害福祉施策の動向	林 健一	社会福祉法人あむ さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール	障害者支援 相談支援	平成17年4月～平成22年3月 社会福祉法人さっぽろひかり福祉会 あさかげ生活支援センター 平成22年4月～平成25年3月 NPO 法人たねっと 障がい者相談支援センター夢民 平成25年4月～平成25年9月 同 相談室つぼみ 平成25年9月～現在 社会福祉法人あむ さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール ※前年度以前の本研修講師実績あり

≪前期演習≫

講義名	講師氏名	所 属	専門分野	略歴・業績
主任相談支援専門員の目的（２） 相談支援専門員の 人材育成Ⅰ（４）	大久保 薫	前掲につき省略		
運営管理（１）	小野寺 拓	社会福祉法人あむ 地域ぬくもりセンター コーディネーター 兼共同生活援助こまち 生活支援員 兼相談室ぽぽ 相談支援専門員	障害福祉行政 障害者支援 相談支援	平成 22 年 4 月～平成 29 年 3 月 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課 平成 29 年 4 月～令和 3 年 3 月 札幌市豊平区 保健福祉部保健福祉課 令和 3 年 4 月～現在 社会福祉法人あむ 地域ぬくもりセンター コーディネーター 兼共同生活援助こまち 生活支援員 令和 6 年 4 月～現在 同 相談室ぽぽ 相談支援専門員兼務 ※前年度以前の本研修講師実績あり
相談支援専門員の 人材育成Ⅰ（２） （３）	赤杉 美香	社会福祉法人あむ さっぽろ地域づくりネットワ ーク ワン・オール	障害者支援 相談支援	知的障害者施設での生活支援員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員等を経て、 平成 10 年 10 月～ 社会福祉法人ゆうゆう 当別町障がい者総合相談支援センターnanakamado 相談支援専門員 平成 29 年 4 月～現在 社会福祉法人あむ さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

≪後期演習≫

講義名	講師氏名	所 属	専門分野	略歴・業績
相談支援専門員の 人材育成Ⅱ（１） （３）（５） 地域援助技術（５） （６） 運営管理（２） 研修のまとめ	大久保 薫	前掲につき省略		

相談支援専門員の 人材育成Ⅱ（２） （３）（４）	橋本 達志	日本医療大学総合福祉学部 ソーシャルワーク学科	ソーシャルワーク 精神保健福祉 スーパービジョン	平成２年～ 国立十勝療養所 平成７年～ 札幌デイケアセンター （こころのリカバリー総合支援センター） 平成２６年～ 多機能型事業所 こころカプロダクション 令和５年～令和６年１２月 相談室はるはる 令和５年～現在 日本医療大学総合福祉学部ソーシャルワーク学科 助教 北海道自立支援協議会地域移行部会委員
地域援助技術（１） （２）（４）	宮島 友紀	社会福祉法人函館一条 相談支援事業所 一条	障害者支援 相談支援	平成１７年４月～平成１８年３月 社会福祉法人侑愛会 北海道発達障害者支援センターあおいそら 平成１８年６月～平成２６年７月 同 渡島・檜山圏域障がい者総合相談支援センターめい 地域づくりコーディネーター 平成２６年１２月～現在 社会福祉法人函館一条 相談支援事業所 一条 相談支援専門員
地域援助技術（１） （４）	松本 ほたる	株式会社まるまつ ほたるさんの相談室 自立生活援助事業所じゅん	精神保健福祉 障害者支援 相談支援	平成２１年４月～ 社会福祉法人みなみ会 支援センターみなみ相談員 平成２１年５月～令和３年５月 同 相談室みなみ 相談支援専門員 令和３年６月～現在 株式会社まるまつ ほたるさんの相談室 相談支援専門員 令和３年１２月～現在 同 自立生活援助事業所じゅん 地域生活支援員 令和２年～ 中村記念病院附属看護学校 非常勤講師
地域援助技術（３）	佐藤 直美	一般社団法人くらしネット Link 相談支援事業所くらしネット Link 広域相談サロンくらしネット オホーツク	障害者支援 相談支援	平成２年４月～ 社会福祉法人北光福祉会 知的障がい児施設ひまわり学園 児童指導員 同 地域療育等支援事業 コーディネーター（H11.10～H17.3） 平成１８年１０月～ 同 相談支援室ま～ぶる 管理者・相談支援専門員 平成２１年４月～平成３０年３月 同 広域相談サロン くらしネット林ノッ 地域づくりコーディネーター 平成３０年４月～現在 一般社団法人くらしネット Link 広域相談サロンくらしネット林ノッ 地域 づくりコーディネーター ※前年度以前の本研修講師実績あり

地域援助技術（３）	山田 幸広	社会福祉法人北翔会 相談室あゆみ	障害者支援 相談支援	平成 12 年 12 月～平成 23 年 3 月 特定非営利活動法人ライズ 就労移行支援・就労継続支援 B 型 サービス管理責任者 平成 23 年 4 月～現在 社会福祉法人北翔会 地域支援部地域支援課 相談室あゆみ 相談支援専門員
地域援助技術（４）	赤杉 美香	前掲につき省略		